



若林区内でのスケアード・ストレイト方式による 自転車交通安全教室の実施状況



スケアード・ストレイトとは

事故現場を再現してみせ、恐怖を実感することにより、事故の危険を招く行為を未然に防ぐという教育手法のことです。

★会場の様子★

当日は、再現された事故を間近に見て、被害者にも加害者にもならないよう、改めて交通マナー・ルールを守ることの大切さを確認しました。生徒達からは、迫真の演技に拍手がわき、終了後にはスタントマンの方々に感謝の言葉が贈られました。

●令和元年5月16日（木）に、聖ウルスラ学院英智高等学校でスケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室を実施しました。当日は、全生徒・教職員に来賓・関係者約870名が参加しました。



●令和元年5月27日（月）に、仙台市立六郷中学校でスケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室を実施しました。全生徒・教職員に来賓・関係者約400名が参加しました。



●令和元年7月4日（木）に、聖和学園高等学校でスケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室を実施しました。全生徒・教職員に来賓・関係者約860名が参加しました。

